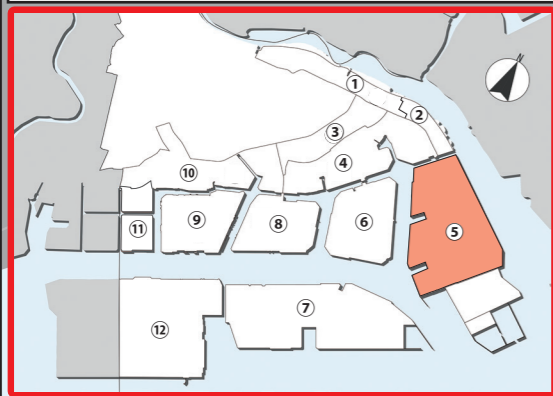


5 ~アクションマップ~
浮島町地区/浮島地先地区

凡例
 ----- 市域
 公共事業の経過・進捗・計画
 ● バス停
 ○ 鉄道駅

SCALE 1/12000
 0 100 300 500m



多摩川

浮島小島地区⇄横浜駅
 首都高速湾岸線経由2011.4.5運行開始
 平日 上り12便/下り16便
 土曜日 上り 5便/下り 9便
 ◇平日午前4便、午後7便が減便(2020.3.30)

首都高速道路の橋脚により視界不良であるが
 信号機がなく、浮島1号線からの出入りが危険
 日本ユニカー前の信号機を移設(2013.3)

国道357号
 多摩川トンネル整備の着手(2015)
 計画延長:3.4km、車線数:2車線
 立抗部の準備工事に着手(2020.3)
 立抗部の掘削工事 契約(2021.3)
 立抗部工事 実施中(2026)
 完成時期未定

大雨・台風対策の強化のため、構造改良により、
 路面を高くする工事を実施(2021.3.5~5月下旬)

道路の盤上げ(2020.3)
 暫定貯留池の整備(2020.3)

浮島太陽光発電所
 (東京電力ホールディングス㈱、川崎市)
 川崎市所有地における大規模太陽光発電所
 受注者 : 東芝
 太陽光モジュールメーカー: シャープ
 出力 : 7,000KW
 発電量(年間) : 約921万KWh(2018)
 敷地面積約11ha : 太陽光パネル面積約10ha
 CO2削減量(年間) : 約4,200t(2018)
 運転開始 : 2011.8

浮島埋立地暫定土地利用
 A地区(約2.7ha) B地区(約1.1ha)
 ◇賃貸ニーズへ柔軟に対応するため、
 公募と合わせて月単位の貸付を実施
 (2010.11~)

浮島処理センター 6.0ha
 ごみ焼却時に発生するエネルギーを有効利用するための発電設備を設置
 出力12500kw
 ◇津波避難施設として指定(2012.3)
 ◇JFEエンジニアリングと「エネルギー循環型ごみ収集システム」の実証実験(2015.秋~)

かわさきエコ暮らし未来館 川崎市 2011.8開館
 環境について、見て、聞いて、触って学べる体験型環境学習施設。
 ◇太陽光発電等に関する普及啓発および体験設備を備えたPR施設
 の来館者10万人達成(2018.4)
 ◇水素エネルギー体験型コーナーのリニューアル(2020.2)

排水不良路面嵩上げ工事(2013~2014)

道路の冠水
 雨水樹6基増設(2010.8)
 ポンプ施設設置、フラップゲート設置
 (2013工事完了)
 分岐樹設置工事(2020)

**「東亜合成川崎工場前」
 バス停新設(2012.9)**

浮島町1号線 幅員12m

浮島町2号線 幅員14m

運河上空送電線の地中化
 2013.1 海線の地中化ルート切替完了
 2013.6 海線撤去完了
 陸線も撤去(2019)

大師運河(幅350m)

千鳥運河

多摩運河(幅100m)

川崎港